

自治体検診に係る PHR への対応を踏まえた標準様式  
送付用ファイルアーカイブ仕様  
1.2 版

## 目次

1 はじめに .....	1
2 送付用ファイルアーカイブ仕様 .....	1
2.1 フォルダ構成 .....	1
2.2. ルートフォルダ .....	2
2.2.1 ルートフォルダ命名規則 .....	2
2.2 自治体検診データフォルダ .....	3
2.2.1 データファイル命名規則 .....	3
2.3 XML スキーマフォルダ .....	4
3. サンプル .....	5

修正履歴

日付	版	修正内容
2021 年 12 月 9 日	1.2	P.2 表 1 の自治体の全国地方公共団体コードの桁数を 5 から 6 に修正。 本文中に例示している「1234567890_131062_202312210_4」 を「1234567890_1310162_202312210_4」に修正。
2021 年 12 月 9 日	1.2	p.5 図 2 サンプルのフォルダ構成のフォルダ名称を上記と同様に、 「1234567890_1310162_202312210_4」に修正。

## 1 はじめに

本書は、自治体検診データの電子的交換において提出に必要となる一連のファイルのフォルダ構成とファイル名の仕様を定めたものである。

## 2 送付用ファイルアーカイブ仕様

自治体検診データの送付用ファイルアーカイブ仕様を示す。この文書で「アーカイブ」とは、送付すべき複数のファイルを一定の規則に基づいて並べ(ファイルまたはディレクトリに配置し)、定められたルールに基づいてファイル名やフォルダ名(ディレクトリ名)を付与し、その上で、それらのファイルを1つのファイルに圧縮してまとめることを指している。

「ファイルアーカイブ」とは、送付すべき複数のファイルに対して、上記の操作を実施することである。

「アーカイブファイル」とは、上記の操作を実施した結果、作成される1つの送付用ファイル(圧縮ファイル)のことで、本仕様では、圧縮方法に ZIP 圧縮を採用しているため、アーカイブファイルは1つの ZIP ファイルを指すことになる。

### 2.1 フォルダ構成

自治体検診データの送付用ファイルアーカイブのフォルダ構成を図1に示す。

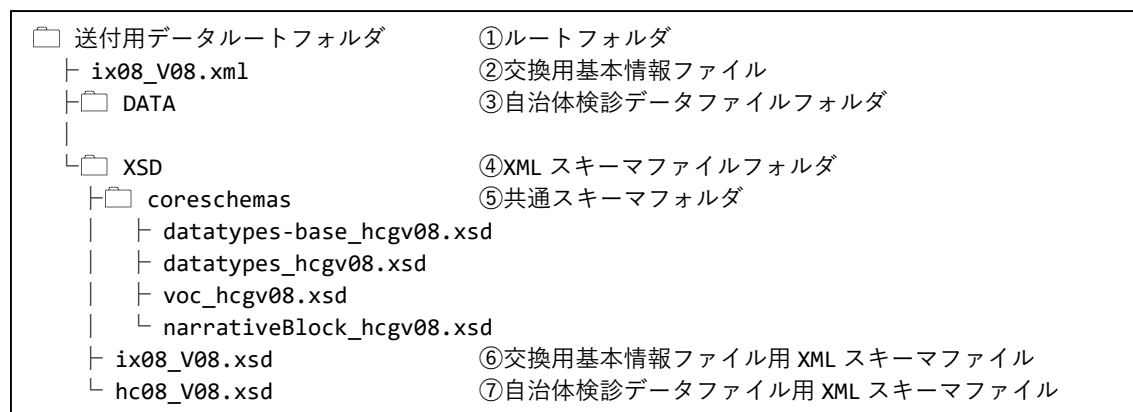


図1 送付用ファイルアーカイブのフォルダ構成

## 2.2. ルートフォルダ

送付用ファイルアーカイブのルートフォルダ名(ディレクトリ名)の命名規約を以下に示す。このフォルダには、②交換用基本情報ファイル、③自治体検診データファイルフォルダ、④XML スキーマフォルダを配置する。

### 2.2.1 ルートフォルダ命名規則

送付用ファイルアーカイブのルートフォルダ名は、以下の規則により構成する。

[送付元機関番号]_[送付先機関番号]_[提出年月日]_[同日分割送信回数]_[実施区分]
---

表 1 ルートフォルダ名規則

バイト数	データ項目	設定値
8～10	送付元機関番号	特定健診・特定保健指導機関番号。 上記番号を持たない場合は、医療機関番号。 上記 2 番号をいずれも持たない機関は、「99999999」。
6～10	送付先機関番号	送付先となる自治体の全国地方公共団体コード[6]+市町村 部門コード(2: 市町村一般衛生部門)
8	提出年月日	書式: YYYYMMDD
1	同日分割送信回数	同じ送信元機関から同じ送信先機関に同日に複数回送信する 場合(同日分割送信)、送信回数識別番号。1 回目の送信では 0 とし、同日に 2 回目以降の送信をする場合、1、2、3、...と 増やす。最大 9 まで。1 回で送信を完了する場合にも 0 を設 定する。
1	実施区分	4: 他の健診結果の受領分

下記の内容からルートフォルダ名を構成すると、「1234567890\_1310162\_202312210\_4」になる。

項目名称	値
送付元機関番号	1234567890
送付元機関名	テスト医療機関
送付先自治体コード	131016
送付先自治体名	東京都千代田区
提出年月日	2023 年 12 月 21 日
同日分割送信回数	分割 1 回中の 1 回目

## 2.2 自治体検診データフォルダ

自治体検診データフォルダ(④)のフォルダ名(ディレクトリ名)は、「DATA」とする。ルートフォルダ内に配置され、このフォルダ内に自治体検診データファイルを格納する。データファイルの命名規則は、2.2.1 節に示す。

### 2.2.1 データファイル命名規則

データファイルは、以下の規則により構成する。

[送付元機関番号][提出年月日][同日分割送信回数][実施区分][重複しない6桁の数値].xml
--

表2 データファイル名規則

バイト数	データ項目	設定値
8～10	送付元機関番号	特定健診・特定保健指導機関番号。 上記番号を持たない場合は、医療機関番号。 上記2番号をいずれも持たない機関は、「99999999」。
8	提出年月日	書式：YYYYMMDD
1	同日分割送信回数	同じ送信元機関から同じ送信先機関に同日に複数回送信する場合（同日分割送信）、送信回数識別番号。1回目の送信では0とし、同日に2回目以降の送信をする場合、1、2、3、...と増やす。最大9まで。1回で送信を完了する場合にも0を設定する。
1	実施区分	4：他の健診結果の受領分
6	重複しない6桁の数値	同一フォルダで同一ファイル名にならないように振られた6桁の数値 書式：[0-9]{6}

下記の内容からデータファイル名を構成すると、「12345678902023122104000001.xml」になる。

項目名称	値
送付元機関番号	1234567890
送付元機関名	テスト医療機関
提出年月日	2023年12月21日
同日分割送信回数	分割1回中の1回目
重複しない6桁の数値	000001

## 2.3 XML スキーマフォルダ

フォルダ名(ディレクトリ名)は、「XSD」とする。ルートフォルダ内に配置され、このフォルダ内に自治体検診データファイルの電子的交換に必要な XML スキーマを格納する。

表 3 自治体検診用 XML スキーマファイル

ファイル名	内容
ix08_v08.xsd	基本情報ファイル用 XML スキーマファイル(⑥)
hc08_v08.xsd	自治体検診データ用 XML スキーマファイル(⑦)
以下、共通スキーマフォルダ(⑤)内に格納	
datatypes-base_hcgv08.xsd	HL7 データ型基本 XML スキーマファイル
datatypes_hcgv08.xsd	HL7 データ型拡張 XML スキーマファイル
voc_hcgv08.xsd	HL7 ポキャブラリドメイン XML スキーマファイル
narrativeBlock_hcgv08.xsd	CDA 説明ブロック XML スキーマファイル

### 3. サンプル

以下の内容の送付用ファイルアーカイブのフォルダ構成を、図 2 に示す。

項目名称	値
送付元機関番号	1234567890
送付元機関名	テスト医療機関
送付先自治体コード	131016
送付先自治体名	東京都千代田区
提出年月日	2023 年 12 月 21 日
同日分割送信回数	分割 1 回中の 1 回目
送付ファイル件数	3 件

<div>1234567890_1310162_202312210_4<ul style="list-style-type: none"><li>ix08_V08.xml<ul style="list-style-type: none"><li>DATA<ul style="list-style-type: none"><li>12345678902023122104000001.xml</li><li>12345678902023122104000002.xml</li><li>12345678902023122104000003.xml</li></ul></li><li>XSD<ul style="list-style-type: none"><li>coreschemas<ul style="list-style-type: none"><li>datatypes-base_hcgv08.xsd</li><li>datatypes_hcgv08.xsd</li><li>voc_hcgv08.xsd</li><li>narrativeBlock_hcgv08.xsd</li></ul></li><li>ix08_V08.xsd</li><li>hc08_V08.xsd</li></ul></li></ul></li></ul></div>
---

図 2 サンプルのフォルダ構成